

環境教育実践研究センター公開講座

地域フィールドを活用した環境教育実践

1. 概要

学校教育において室内授業および野外活動を展開する際の手法、プログラム構成について講義する。学校教育における環境教育はどうあるべきか、教科別学習をどのように展開できるか、総合的学習の時間をどのように活用するかについて検討する。

学校における環境教育では、環境の状況を認識するために、環境を調査し計測することが必要である。ここでは、水質指標に基づく環境解析法について概説する。

地域自然や地域社会の在り方などを知るための観察方法論について講義し、それを基に各種のフィールドワーク実践を行う。

学校教育の情報化を環境情報学の視点から論じ、教育工学的な視点から教育の場における情報化の在り方について講義する。

2. 受講対象者： 現職教員（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）

3. 講座の日程（予定）

期日	9:00-10:30	10:40-12:10	13:30-15:00	15:30-17:00
8/17 (水) 1	環境教育実践 の展開 (見上)	環境教育実践 プログラムの 作成と活用 2 (見上)	学校教育にお ける情報化 (安江)	学校における 教育ネットワ ークの構築 (安江)
8/18 (木)	環境指標とそ の意味 (村松)	水質指標に基 づく環境解析 (村松)	自然観察方法 論 (溝田)	フィールドワー クの解釈 (溝田)
8/19 (金)	土壌動物を用 いた環境評価 法 (島野)	環境評価のた めの土壌土物 の観察法 (島野)	地域自然を生 かしたフィール ドワーク (齊藤)	地域自然を生 かしたフィール ドワーク (齊藤)
8/20 (土)	食と環境 (小金沢)	食と環境 (小金沢)	試験 (見上)	

1. 初日（8/17）は、無料公開します。

2. ゲストスピーカーとしてユネスコ・アジア文化センターの佐藤真久氏（演題：ユネスコ・アジア文化センターの活動と環境教育（仮題））を予定

4. 受講料

5. 単位認定：総合特別演習（環境教育を通じた展開）：2単位（申請中）

講義内容 気仙沼の自然を考慮した環境教育実践の理論と方法について実習を一部加えて多面的に講述する。

回数	担当者	授業題目	授業内容
1	見上一幸	環境教育実践の展開	学校教育において、環境教育の位置づけや教育のねらいについて講義する。
2	見上一幸	環境教育実践プログラムの作成と活用	環境教育実践に必要な室内授業と野外活動について、気仙沼の自然を考慮し、実施する際の手法と実践プログラムの作り方について解説する。
3	安江正治	学校教育における情報化	学校教育の情報化を環境情報学の視点から論じ、教育工学的な視点から教育の場における情報化の在り方について講義する。
4	安江正治	学校における教育ネットワークの構築	学校で教育ネットワークを構築する場合の方法について解説する。
5	村松 隆	環境指標とその意味	自然環境の現状を判断するための環境指標の種類と解釈方法について解説する。
6	村松 隆	水質指標に基づく環境解析	気仙沼市内を流れる河川の分析を行い、環境学習プログラムの作成法について解説する。
7	溝田浩二	昆虫採集の手法と標本化	環境教育教材として、昆虫生息域の選定、分類、採集の手法、保管管理法について解説する。
8	溝田浩二	生物標本の環境教育への活用法	昆虫標本の作り方、環境学習プログラム作成方法について解説する。
9	島野智之	土壌動物を用いた環境評価法	地域（気仙沼周辺）の土壌中の土壌動物の観察法と観察を通じた環境評価法について解説する。
10	島野智之	環境評価のための土壌土物の観察法	土壌の採取と実体顕微鏡による土壌動物の観察を行い、環境教育教材としての活用を解説する。
11	齊藤千映美	地域自然を生かしたフィールドワーク	フィールドワークに基づく環境学習の進め方、観察方法論について解説する。
12	齊藤千映美	地域自然を生かしたフィールドワーク	地域自然の観察方法論を基に、フィールドワーク実践を行う。
13	小金沢孝昭	食と環境	食文化の観点から暮らしに密着した環境保全の在り方と環境教育の意義について解説する。
14	小金沢孝昭	食と環境	地域の食を取り上げ、環境教育教材としての活用を解説する。
15	見上一幸	試験	